



2019年4月採用

新規採用職員からのメッセージ

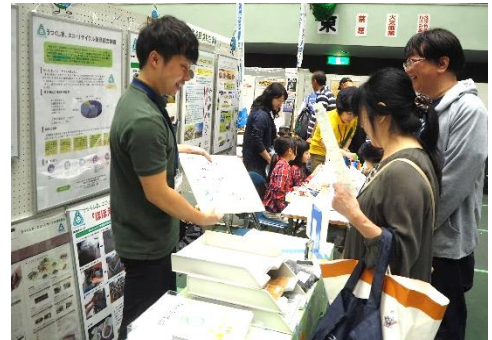
生活環境部環境共生課
坂本 大 (行政事務)



●現在の仕事の内容

環境共生課では、地球温暖化対策や循環型社会形成の推進を行っています。私は、県内で生じた廃棄物等の循環資源を利用して製造された「うつくしま、エコ・リサイクル製品」の広報や、製品を使用する市町村へ補助金を交付する業務を担当しています。

また、年に数回展示会を開催し、地域の方々へ認定製品の説明を行っています。



●県職員として働いて感じたこと

県では、環境分野だけでも、温室効果ガス排出抑制、再生可能エネルギーの普及、水・大気の調査、環境教育、有害鳥獣対策など多種多様な事業を行っています。そのどれもが福島県をより良いものにする重要な仕事です。様々な分野に多くの業務がありますが、自分の担当する業務に責任を持って取り組み、少しでも福島の役に立つことが今の目標です。

●県職員を志望した理由

私は中学生の時に東日本大震災を経験し、複数の市町村で避難生活をおくりました。生活したどの地域の方々も優しく、不自由なく過ごすことができました。この経験をとおして、福島県民の生活を支える仕事がしたいと思うようになり、県内の様々な課題に取り組むことができる県職員を志望しました。

●新規採用研修や職場の雰囲気など

新規採用職員研修では、接遇など基礎的なことから、財務会計制度など実践的なことまで幅広く学ぶことができます。また、研修は、他の部署の同期や市町村職員の方と合同で行います。同期の仲間と悩みや目標を共有し合うことで、仕事へのモチベーションが高まりました。研修が終わった今でも同期の仲間たちと連絡を取り合っています。

職場では、上司・先輩方に親身に相談に乗ってもらえるため、安心して日々の業務に取り組むことができます。また、新規採用職員一人一人についているサポート職員の先輩には、日々の業務はもちろん、時にはプライベートについても相談に乗っていただけるので、大変頼りにしています。



●試験の対策や情報の入手方法

説明会やジョブトークに積極的に参加しました。情報収集を行うとともに、県職員の先輩方と直接意見交換ができ、試験勉強のモチベーションアップにもつながりました。

●受験者へのメッセージ

受験勉強は長期間に及ぶかと思いますが、時には息抜きをしながら、自分のやりたい仕事ができるよう、夢に向かって頑張ってください！

※掲載内容は、2020年3月現在のものです。